

コミュニティ・スクールだより

～地域とともにある学校づくりを目指して～

ニセコ町学校運営協議会推進委員会

2015. 7. 23

☆No. 1 ☆

発行者
ニセコ町
教育委員会

ニセコ町教育委員会では、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入に向けて、平成27年7月2日「ニセコ町学校運営協議会推進委員会」を発足させました。

委員会では、今後2年間をかけて、調査研究や先進地視察研修などを行い、コミュニティ・スクールの円滑な導入に向けた準備を進めます。この『コミュニティ・スクールだより』では、委員会の活動内容についてお伝えしていきます。

第1回学校運営協議会推進委員会には、コミュニティ・スクールマイスターでもある北海道大学学務部長の出口寿久先生をお招きし、コミュニティ・スクール導入に向けた講話をいただきました。講話終了後には、委員のみなさんと質疑応答を行いました。



出口寿久先生

講演：「地域とともにある学校づくり～コミュニティ・スクールと地方創生～」

- ◇コミュニティ・スクールがはじまったきっかけは学校週五日制の導入です。特に土曜日に、子どもたちが有意義に安心して過ごせる場をつくるために学校と地域・家庭の連携強化が必要になったのです。
- ◇地域とともにある学校運営を行うことで、子どもたちは地域住民や保護者などさまざまな方と関わり、ともに学びながら成長していけるという成果があります。
- ◇学校は子どもたちの学びの場のみならず、地域コミュニティの核となる場です。子どもたちは地域によって育てられ、地域は子どもたちによって支えられています。地域への愛着や誇りを育み、夢や希望を持って地域を切り拓く人材を育成していくことが、これからの地域を支えることにつながるのではないのでしょうか。

Q、委員さんからの質問

学校運営協議会とは何ですか？
「コミュニティ・スクール」という学校を新しく建てるのですか？

A、出口先生の回答

学校運営協議会は、保護者や地域住民の声を学校運営に反映されやすくする仕組みのことで、この仕組みを取り入れている学校のことを「コミュニティ・スクール」と呼んでいます。新しい学校を建設するものではありません。



学校を核として、地域住民・保護者が連携し、地域を愛する子どもの育成について学びました。



コミュニティ・スクールの仕組みについて

コミュニティ・スクールとは学校運営協議会の制度を導入した学校のことをさします。学校運営協議会は、学校と保護者や地域のみなさんが、ともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく仕組みです。

コミュニティ・スクールのイメージ

文部科学省のホームページより



学校運営協議会の役割

学校運営の基本方針を承認します。

校長や教育委員会に意見を述べるすることができます。

教職員の任用に関する意見を述べるすることができます。

地域とともにある学校づくりにより得られる成果

子どもたちの「生きる力」を育むことができる

職員・保護者・地域住民等がともに成長していく

学校を核として地域ネットワークが形成される

地域コミュニティの基礎力が高まる

ニセコ町学校運営協議推進委員名簿

委員長	ニセコ中学校	校長	渡邊 均
副委員長	ニセコ町PTA連合会	会長	萬谷 政博
委員	ニセコ町PTA連合会	副会長	山野 美昭
"	あそぶっくの会	事務局長	矢島 誠
"	近藤小学校	学校評議委員	山際 勉
"	ニセコ小学校	校長	新井 融
"	近藤小学校	校長	小中 憲雄
"	ニセコ高等学校	校長	田邊 裕二
"	ニセコ町教育委員会	教育委員長	日野浦 あき子
"	ニセコ町教育委員会	教育長	菊地 博
"	ニセコ町教育委員会	学校教育課長	加藤 紀孝

委員長あいさつ

昨年、先進地視察研修に行った際、コミュニティ・スクールの取組の進み方に大変驚きました。

これからの課題は何なのか、そしてニセコ町の特徴を活かしどのように進めていけばよいのかを考え、これから皆さんで教育環境をより良く整えていきましょう。